

2012年（平成24年）8月26日（日曜日）

「空港のヒマワリ」見頃

太陽の光浴び鮮やか
小児児童が植える
積迎内

大館能代

北秋田市脇神の大館能代空港敷地で、夏を代表するヒマワリの黄色の花が咲き、乗降客や送迎の人たちの目を楽しませて

いる。
大館市積迎内で地域く



るみで取り組んでいる「積迎内サンフラワープロジェクト」の一環で、積迎内小児童と同空港職員、積迎内婦人会員らが、6月4日に空港駐車場向かいの前庭約200平方メートルに種まきした。ヒマワリは順調に育ち、今では茎の長さが1メートル以上に育っているもの

残暑厳しい中で咲いているヒマワリの花（大館能代空港敷地内）

もあり、茎の先端に黄色の花を付けている。すでに花の見頃を過ぎたものも見られるものの、大半は見頃を迎えており、太陽の光を浴びて空に向かってように咲いている。

出迎えに来た人の中には、「ヒマワリは夏がびっ तरी」などと話し、前庭を散策する姿も見られる。

9月上旬には刈り取られ、小坂町の採油業者に油を瓶詰めしてもらう予定。